

## 令和6年度災害廃棄物処理に係る研修の実施について

### 1 要旨・目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的とし、重要な初動対応の一つである仮置場の設置運営に係る模擬訓練を、東広島市及び広島中央環境衛生組合の協力を得て開催する。

### 2 現状・背景

県及び市町は、災害廃棄物処理計画及び初動マニュアルを策定し、それに基づき災害廃棄物対策を行うこととしている。例年、対応能力の維持強化を図るため、災害廃棄物処理において重要な初動対応等についての研修・訓練を実施している。

### 3 概要

#### (1) 実施主体

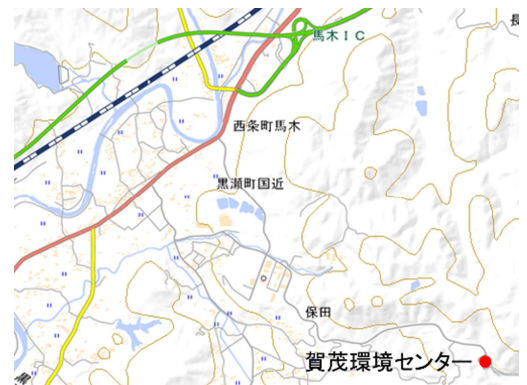
県が県内23市町及び廃棄物業界団体の協力を得て実施

#### (2) 実施時期

令和6年5月30日（木）10時30分～15時30分

#### (3) 場所

賀茂環境センター（東広島市黒瀬町）



地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

#### (4) 実施内容

##### ア 対象者

県、市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）職員

##### イ 内容

- 仮置場レイアウトの検討（廃棄物の配置、車両動線の検討等）
- 住民向け広報資料の作成（仮置場開設期間の検討を含む）
- 仮置場の設置・運営（看板設置、車両動線の確保等）
- 仮置場運営に係るロールプレイング（廃棄物の受付・積み下ろし等）
- 振り返り・意見交換（後日実施）

### 4 その他

(1) 令和6年5月9日（木）に、次の内容で、令和6年能登半島地震における災害対応状況も踏まえたオンライン事前学習会を実施。

- 近年の災害対応状況を踏まえたタイムライン及び留意事項の確認
- 市町初動マニュアルを用いた演習（情報収集、収集・運搬体制の確保、支援要請、仮置場の設置運営等）
- 各市町の公費解体対応準備状況、課題及びその対応策の検討・確認【新規】

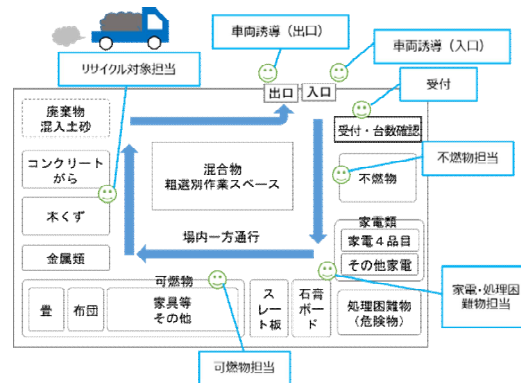
(2) 初動体制に関する研修で使用するタイムライン

	発災	1日後	2日後	3日後	1週間	2週間
1. 組織体制の確立		(1) 職員の安否及び参集状況の確認				
		(2) 組織体制の検討				
		(3) 庁内の連携				
		(4) 他組織との連携				
2. 情報収集・報告		(1) 被害状況の把握				
		(2) 情報の共有・報告				
3. 支援要請・支援受入		(1) 支援メニューの確認				
			(2) 支援が必要な項目の確認			
			(3) 支援要請			
				(4) 支援の受入		
4. 一次仮置場の確保・運営		(1) 場所の選定				
		(2) 管理体制・レイアウト等の決定				
		(3) 住民への周知				
		(4) 搬入開始				
					(5) 一次仮置場からの搬出開始	

(3) 仮置場の設置・運営に係る模擬訓練の様子（令和5年度）



仮置場レイアウトの検討



レイアウトのイメージ



仮置場の設置



仮置場の運営